

地球温暖化&エネルギー問題 総合統計



2023

気候変動による地球規模の災害の増加！
持続可能な社会の構築のためのエネルギー問題
を見つめなおすのに最適な統計集。

きっと使えるデータがあります



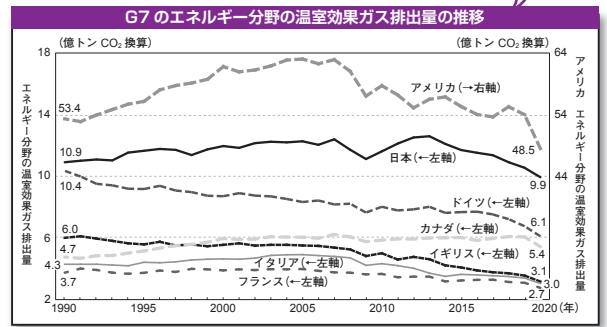
- ISBN978-4-86563-097-8
- 三冬社 編集制作部 編
- 2023年3月27日発行
- A4判 336頁
- 定価 本体 14,800円+税

より詳しくは、三冬社ホームページまで
<https://www.santho.net/>

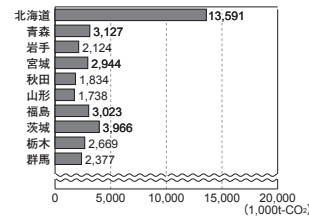
例えばこんなことがわかります！

- エネルギー起源温室効果ガスの排出量 (CO₂換算) の推移
 - 中国 1990年 22.0億トン → 2020年 101.9億トン △362%
 - インド 1990年 5.7億トン → 2020年 21.4億トン △276%
 - ブラジル 1990年 1.9億トン → 2020年 4.1億トン △109%
 - 日本 1990年 10.6億トン → 2020年 10.0億トン ▼6%
 - ドイツ 1990年 9.5億トン → 2020年 6.0億トン ▼37%
 - イギリス 1990年 5.6億トン → 2020年 3.1億トン ▼45%
- 2010年～2020年で年平均森林面積が増加した国
 - 1位 中国 1,937(1,000ha/年)
 - 2位 オーストラリア 446(1,000ha/年)
 - 3位 インド 266(1,000ha/年)
- 2010年～2020年で年平均森林面積が減少した国
 - 1位 ブラジル ▼1,496(1,000ha/年)
 - 2位 コンゴ民主共和国 ▼1,101(1,000ha/年)
 - 3位 インドネシア ▼753(1,000ha/年)
- 日本のCO₂吸収量と割合 (2020年度)
 - 1位 森林 約4,050万CO₂トン(91%)
 - 2位 農地・牧草地 約270万CO₂トン(6%)
 - 3位 都市緑化等 約130万CO₂トン(3%)
- 主要国の一次エネルギーの自給率
 - 1位 ノルウェー 816.7%
 - 2位 オーストラリア 338.5%
 - 3位 カナダ 174.5% 4位 アメリカ 104.2%
 - …… 24位 ドイツ 34.6% 34位 韓国 17.7%
 - 35位 日本 12.1%
- 日本の一次エネルギー供給構成の変化
 - 1973年度(第一次石油ショック時) 再エネ等 1.0% 石油 75.5% 石炭 16.9% 原子力 0.6% LNG 1.6% 水力 4.4%
 - 2010年度(東日本大震災前) 再エネ等 4.4% 石油 40.3% 石炭 22.7% 原子力 11.2% LNG 18.2% 水力 3.3%
 - 2019年度 再エネ等 8.8% 石油 37.1% 石炭 25.3% 原子力 2.8% LNG 22.4% 水力 3.5%

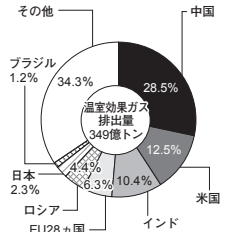
最新トレンドから都道府県別のデータまで幅広く網羅！



都道府県別、家庭部門 CO₂排出量



各国の温室効果ガス排出量の比較 (2030年予測)



※上記図表サンプルは本書図をわかりやすく加工したものです。

経営改善、マーケティング、企画提案等に役立つ資料を多数収録。

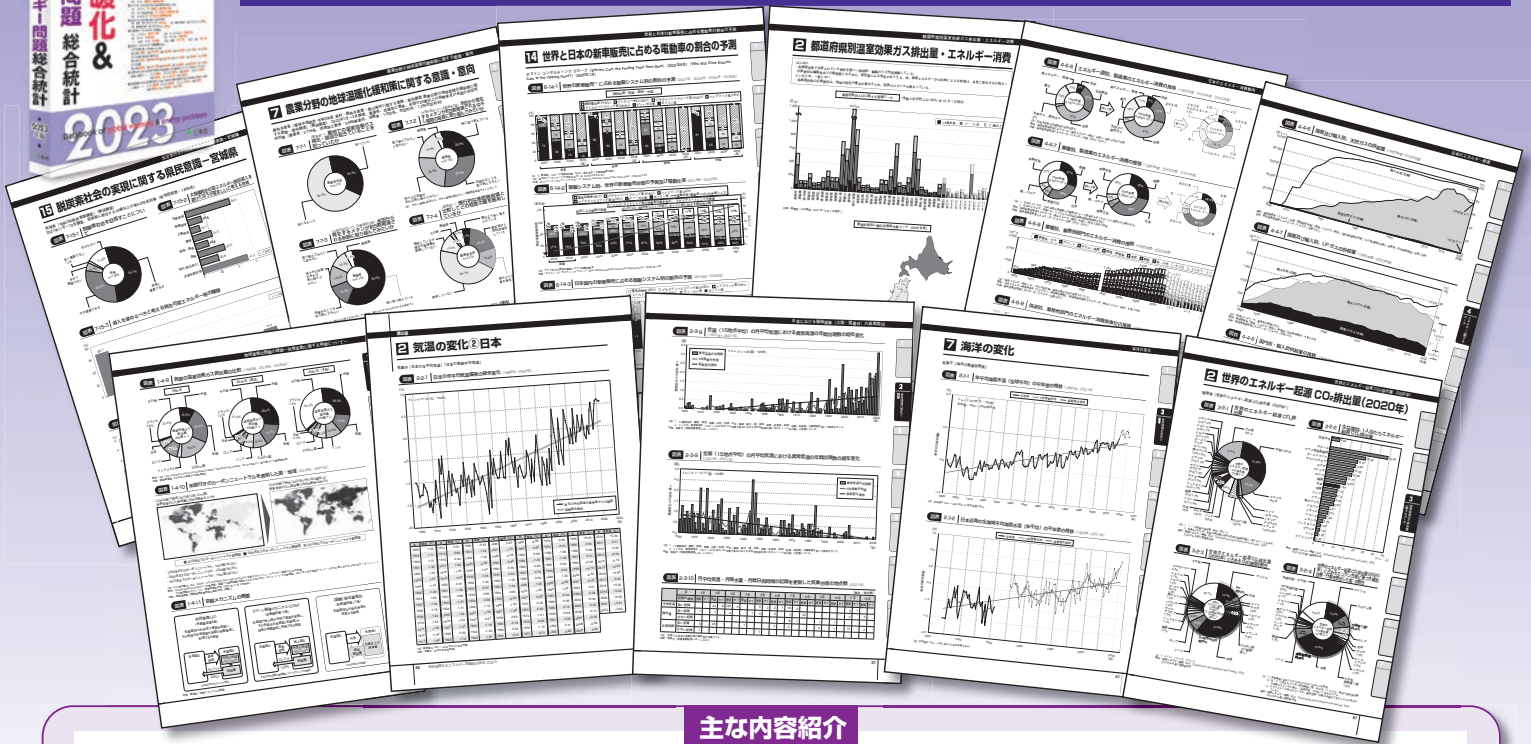
キリトリ線 ✂

発行・発売 三冬社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 TEL.03-3231-7739/FAX.03-3231-7735

書籍購入申込書			申込月日
地球温暖化&エネルギー問題総合統計 2023	ISBN978-4-86563-097-8 定価本体 14,800円+税	冊	年 月 日
食の安全と健康意識データ集 2023	ISBN978-4-86563-096-1 定価本体 14,800円+税	冊	
食生活データ総合統計年報 2023	ISBN978-4-86563-094-7 定価本体 14,800円+税	冊	書店名/販売店
余暇・レジャー&観光総合統計 2022	ISBN978-4-86563-086-2 定価本体 14,800円+税	冊	全国の書店でお申込み頂けます
災害と防災・防犯統計データ集 2022	ISBN978-4-86563-088-6 定価本体 14,800円+税	冊	
機関名・団体名			
部署名	お名前		
お届け先〒			
TEL.	FAX.	メールアドレス	

地球温暖化 & エネルギー問題総合統計 2023

国、自治体から企業まで実態と意識、対策などあらゆるデータを集録



主な内容紹介

1章 地球温暖化とは

地球温暖化の要因 / 温暖化がもたらす影響・予測 / 日本における地球温暖化予測 / 地球温暖化問題の経緯 / パリ協定・各国の温室効果ガス削減目標 など

2章 自然環境の変化と影響

世界と日本の気温の変化 / 日本における極端現象 / 日本におけるヒートアイランド現象 / オゾン層の変化 / 酸性雨 / 海洋の変化 / 森林の状況 など

3章 温室効果ガス排出量に関するデータ

世界のエネルギー起源 CO₂ 排出量(2020年) / 日本の温室効果ガス排出量 / 国連気候変動枠組条約附属書 I 国の 2020 年の温室効果ガス排出量データ(1990 年との比較) など

4章 エネルギーに関するデータ

世界と日本のエネルギー自給率 / 世界と日本のエネルギー資源・消費動向 / 日本のエネルギー国内供給 / 再生可能エネルギー / 日本の家計における電気価格の推移 など

5章 都道府県別温室効果ガス排出量・エネルギー消費

部門別 CO₂ 排出量 / 温室効果ガス排出量・エネルギー消費 / 発電実績・発電所数・出力数 など

6章 温暖化対策

農林水産分野の地球温暖化対策: 設備・機器等の導入、農地土壌、森林 / 地方公共団体の温室効果ガス対策 / ZEH・ZEB / 中小企業の脱炭素施策の取り組み状況 など

7章 温暖化・エネルギーに関する意識

気候変動に関する世論調査 / 消費者の気候変動問題やカーボンニュートラルに対する意識 国際比較 / 化学工業のカーボンニュートラルに関する意識 など

主な出典元: 官庁統計、各種企業・団体

食の安全と健康意識データ集 2023



ISBN978-4-86563-096-1 (2023年2月刊行)
A4判・328頁・定価14,800円+税
食品の製造原価と価格上昇で食の安全は守られているのか? 消費者行動の変化を読み解くためのヒントを見つける総合統計データ集。

食生活データ総合統計年報 2023



ISBN978-4-86563-094-7 (2023年1月刊行)
A4判・336頁・定価14,800円+税
食品価格の高騰がもたらすライフスタイルの変化
消費者の食を考えたための総合統計集

余暇・レジャー & 観光総合統計 2022



ISBN978-4-86563-086-2 (2022年6月刊行)
A4判・336頁・定価14,800円+税
新型コロナで大きな打撃を受けた観光経済! 地域経済の回復戦略のための豊富な統計データを集めた資料集。

災害と防災・防犯統計データ集 2022



ISBN978-4-86563-088-6 (2022年7月刊行)
A4判・336頁・定価14,800円+税
安全な国と思われていた日本の犯罪対策! 日本の安全対策を見直すための豊富な統計資料集。